

# メガ・ドラッグストアに調剤薬局を併設した 最も身近なヘルスケアセンター

2024年3月期  
第2四半期累計  
決算説明会



# カワチ薬品

2023年11月7日

証券コード:2664

※ 本資料に掲載しております業績予想は現時点における事業環境に基づくものであり、今後様々な要因によって予想と実際の業績が異なる可能性があります。予めご承知おきくださいますよう、お願い申し上げます。



# 目次

---

- 1. 第2四半期累計：連結業績**
  - (1) 決算概要**
  - (2) 上期実績について(計画比)**
  
- 2. 2024年3月期 見通し**

# 1. 第2四半期:連結業績

## (1)決算概要 決算ハイライト



(単位:百万円、%)

第2四半期累計	2023.3期(※)			2024.3期		
		構成比	前年同期比		構成比	前年同期比
売上高	142,559	100.0	—	145,934	100.0	102.4
売上総利益	32,283	22.6	—	33,182	22.7	102.8
営業利益	4,030	2.8	—	4,392	3.0	109.0
経常利益	4,568	3.2	—	4,917	3.4	107.6
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,811	2.0	—	3,047	2.1	108.4
EPS(円)	125.9			136.5		
BPS(円)	4,757.3			4,906.0		
DPS(円)	—			—		

※「収益認識に関する会計基準」等を前連結会計年度の期首より適用しているため、増減率は記載しておりません。



# 出店及び退店の状況

## 【地方別出店及び退店】

(単位:店)

2024.3期	第1四半期			第2四半期			第2四半期累計			
	Dg.S	調剤併設	退店	Dg.S	調剤併設	退店	Dg.S	調剤併設	退店	増減
出店数合計	3	1	0	3	2(1)	2	6	3(1)	2	4
東北地方	0	0	0	2	0	0	2	0	0	2
関東地方	3	1	0	1	2(1)	1	4	3(1)	1	3
甲信越・東海地方	0	0	0	0	0	1	0	0	1	△1

※調剤併設欄の( )内には閉局数を表示しております。

<ご参考> 2023.3期	第1四半期			第2四半期			第2四半期累計			
	Dg.S	調剤併設	退店	Dg.S	調剤併設	退店	Dg.S	調剤併設	退店	増減
出店数合計	0	0	0	3	3	0	3	3	0	3
東北地方	0	0	0	1	2	0	1	2	0	1
関東地方	0	0	0	2	1	0	2	1	0	2
甲信越・東海地方	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

## 【店舗数合計】

店舗数	2023.3期(第2四半期末)		2024.3期(第2四半期末)	
		前年同期比		前年同期比
店舗数合計	358	11	368	10
ドラッグストア	358	11	368	10
内、調剤薬局併設	135	11	146	11



# 地域別売上高 と 従業員の状況

## 【連結地域別売上高】

(単位:百万円、%、店)

第2四半期累計	2023.3期(※)		2024.3期		
		構成比	前年同期比	構成比	前年同期比
売上高合計	142,096	100.0	-	145,457	100.0
(店舗数)	358		11	368	10
東北地方	44,445	31.3	-	45,818	103.1
(店舗数)	117		4	120	3
関東地方	88,038	61.9	-	90,145	102.4
(店舗数)	217		7	224	7
甲信越・東海地方	9,612	6.8	-	9,493	98.8
(店舗数)	24		0	24	0

(注)不動産賃貸収入は含まれておりません。

※「収益認識に関する会計基準」等を前連結会計年度の期首より適用しているため、増減率は記載しておりません。

## 【連結従業員数の状況】

(単位:人)

第2四半期累計	2023.3期	2024.3期
従業員数	7,016	6,985
社員	2,838	2,815
パート、アルバイト等	4,178	4,170

(注)パート、アルバイトは1人1日8時間換算、年間平均雇用人員で算出。



# 連結部門別売上高

(単位:百万円、%)

第2四半期累計	2023.3期(※)			2024.3期		
		構成比	前年同期比		構成比	前年同期比
売上高合計	142,096	100.0	-	145,457	100.0	102.4
医薬品	26,280	18.5	-	26,144	18.0	99.5
化粧品	10,751	7.6	-	11,490	7.9	106.9
雑貨	39,278	27.6	-	39,860	27.4	101.5
食品	65,786	46.3	-	67,962	46.7	103.3

(注)不動産賃貸収入は含まれておりません。

※「収益認識に関する会計基準」等を前連結会計年度の期首より適用しているため、増減率は記載しておりません。



# 連結損益計算書

(単位:百万円、%)

第2四半期累計	2023.3期(※)			2024.3期		
		構成比	前年同期比		構成比	前年同期比
売上高	142,559	100.0	-	145,934	100.0	102.4
売上原価	110,275	77.4	-	112,751	77.3	102.2
売上総利益	32,283	22.6	-	33,182	22.7	102.8
販売費及び一般管理費	28,253	19.8	-	28,790	19.7	101.9
人件費	14,877	10.4	-	15,162	10.4	101.9
広告宣伝費	1,576	1.1	-	1,562	1.1	99.1
その他	11,799	8.3	-	12,065	8.2	102.3
水道光熱費	1,670	1.2	-	1,508	1.0	90.3
営業利益	4,030	2.8	-	4,392	3.0	109.0
営業外収益	727	0.5	-	718	0.5	98.8
営業外費用	189	0.1	-	193	0.1	102.2
支払利息	21	0.0	-	18	0.0	86.2
経常利益	4,568	3.2	-	4,917	3.4	107.6
特別利益	110	0.1	-	71	0.0	64.1
特別損失	452	0.3	-	437	0.3	96.8
税金費用	1,415	1.0	-	1,502	1.0	106.2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,811	2.0	-	3,047	2.1	108.4

※「収益認識に関する会計基準」等を前連結会計年度の期首より適用しているため、増減率は記載しておりません。

激変緩和措置及び電気使用量抑制により水道光熱費は減少



# 連結貸借対照表

## 【主な増減項目】

(単位:百万円)

	2023.3期 (第2四半期末)	2023.3期	2024.3期 (第2四半期末)	期末比 増減額
資産合計	197,166	194,496	199,676	5,179
流動資産	87,694	83,523	89,521	5,998
現金及び預金	45,598	38,450	44,626	6,176
商品	31,050	32,961	33,251	289
固定資産	109,471	110,973	110,155	△ 818
建物及び建築物	39,223	40,126	39,996	△ 129
土地	49,554	49,292	49,368	75
差入敷金保証金	7,746	7,633	7,623	△ 9
負債合計	90,814	86,771	90,052	3,281
流動負債	64,831	62,435	66,875	4,439
買掛金	44,388	41,923	46,230	4,307
1年内返済予定長期借入金	8,355	7,909	7,181	△ 728
固定負債	25,983	24,335	23,177	△ 1,158
長期借入金	13,584	11,640	10,310	△ 1,330
純資産合計	106,351	107,725	109,623	1,898





# 連結キャッシュフロー計算書

(単位:百万円)

	2023.3期 (第2四半期累計)	2024.3期 (第2四半期累計)
I 営業活動によるキャッシュフロー	10,919	11,662
税金等調整前四半期純利益	4,226	4,550
減価償却費	2,103	2,047
減損損失	220	140
店舗閉鎖損失	-	233
賞与引当金の増減額(△は減少)	12	△ 4
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	235	171
契約負債の増減額(△は減少)	61	94
売上債権の増減額(△は増加)	△ 303	△ 118
棚卸資産の増減額(△は増加)	352	△ 292
仕入債務の増減額(△は減少)	3,763	4,307
法人税等の支払額	△ 940	△ 1,144
II 投資活動によるキャッシュフロー	△ 2,186	△ 2,311
III 財務活動によるキャッシュフロー	△ 2,094	△ 3,174
借入金の純増減額(△は減少)	△ 979	△ 2,058
自己株式の増減額(△は増加)	0	△ 0
配当金の支払額	△ 1,115	△ 1,115
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
V 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,638	6,176
VI 現金及び現金同等物期首残高	38,959	38,450
VII 現金及び現金同等物期末残高	45,598	44,626



## (2) 上期実績について:計画比①

### 【損益の状況】

(単位:百万円、%)

連結 第2四半期累計	計画		実績			計画比		
	構成比	前年 同期比	構成比	前年 同期比	増減	計画比		
売上高	146,100	100.0	102.5	145,934	100.0	102.4	-	99.9
売上総利益	33,700	23.1	104.4	33,182	22.7	102.8	△ 0.4	98.5
販管費	30,000	20.6	106.2	28,790	19.7	101.9	△ 0.9	96.0
営業利益	3,700	2.5	91.8	4,392	3.0	109.0	0.5	118.7
経常利益	4,200	2.9	91.9	4,917	3.4	107.6	0.5	117.1
親会社株主に帰属 する四半期純利益	2,550	1.7	90.7	2,997	2.1	106.6	0.4	117.6

売上総利益は計画未達も販管費抑制により  
営業利益、経常利益とも計画を上回る



## 上期実績について:計画比②

### 1. 出退店について

【( )は退店】

連結		上期計画	上期実績
	出(退)店数	6 (2)	6 (2)
	調剤併設数	3 (1)	3 (1)

※ 出店内訳：メガタイプ5店舗、サテライトタイプ1店舗

### 2. 既存店について

#### ① 今上期の状況

- 新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、行動制限が無くなり、マスクを外しての外出機会増。
- 製造コストや輸送コスト等の上昇により、商品の値上げ続く。

#### ② 上期既存店の実績について

(単位: %)

連結	上期計画	上期実績	計画比
既存店売上高	1.1	1.2	+ 0.1



## 2. 2024年3月期 見通し

### ➤ 消費環境

- ・ 各種値上げによる生活費負担増続き  
先行き不透明感続く
- ⇒ 節約志向、生活防衛意識は一層高まる

### ➤ 小売環境

- ・ 物価高による消費低迷への懸念
- ・ コスト高、人手不足等への対策急ぐ
- ⇒ DX推進、システム化、機械化・自動化加速

### ➤ 業界環境

- ・ 出店増、一段と狭商圈化進む
- ・ 増大する医療費対策の受け皿としての役割明確化
- ⇒ 高齢化社会対応として差別化策を一層強化へ



# (1) 下期計画と方針

## 1. 出退店計画

【( )は退店】

連結		上期(実績)	下期(計画)	通期(計画)
	店舗	6 (2)	9 (-)	15 (2)
調剤	3 (1)	7 (1)	10 (2)	

## 2. 既存店計画

(単位: %)

連結既存店売上高 <計画>	上期(実績)	下期(計画)	通期(計画)
	1.2	- 0.9	0.1

## 3. 営業方針

- ① 値上げ対応に注力、まとめ買い＋狭商圈化対応へ
- ② 販促施策を見直し、新施策の浸透に注力  
＝ 顧客獲得⇒固定客化へ



## 下期:部門別方針

### ☆ 医薬品部門:

マスクや消毒薬等の感染症予防関連商品は減速も底堅く推移  
調剤併設増、健康関連需要への対応等により増収増益へ

### ☆ 化粧品部門:

外出機会増により、メイク商品増。基礎化粧品は引き続き堅調  
接客機会増から高機能商品強化により、増収増益へ

### ☆ 雑貨部門:

日用消耗品等は大容量化が図られ単価増。外出機会増により  
H&BCラインの強化に注力。センター活用により増収増益へ

### ☆ 食品部門:

値上げ対応に注力。嗜好品等の買い控えに対し、  
野菜売場拡大、精肉導入店舗増により増収増益へ



# 雑貨強化:オーラルケア例

NEWS RELEASE



2023年6月22日

## オーラルフレイル予防に向けた栃木県歯科医師会との連携協定締結について

株式会社カワチ薬品は、健康寿命延伸に向けたオーラルフレイル予防への取り組みのため、栃木県歯科医師会と「後期高齢者歯科健診事業連携に関する協定」を締結致しました。

後期高齢者歯科健診事業とは、後期高齢者の歯周病・口腔機能低下に起因する疾患の予防を目的とした事業で、栃木県歯科医師会では、この事業を集団歯科健診として大規模に行っています。

当社は、県民の皆様のもっと身近な生活者医療の拠点として当該事業に参画し、オーラルフレイルに関する啓発・健康意識向上のための活動を通じ、要介護予防の観点から、早期発見・対応を図ることで、高齢化社会における健康寿命延伸という社会的課題の解決に向け取り組んでまいります。

今後もカワチ薬品は、健康増進・健康寿命延伸に向けた取り組みを行い、地域の皆様の健康で快適な生活の実現を目指してまいります。

記

1. 締結日  
2023年6月22日(木)
2. 目的  
高齢者歯科集団健診事業に協力し、後期高齢者の健康増進及び地域活性化を促進し、県民の皆様のQOL向上を実現すること。



➤ オーラルフレイル予防に向けて  
栃木県歯科医師会と連携協定を締結  
栃木県歯科医師会による全国初の  
集団歯科検診への取り組みに参画

⇒ 集団検診へ専門家の派遣  
⇒ 調剤薬局での受診勧奨等

➤ 店舗(売場)における連動  
⇒ オーラルケア売場において  
全店テーマ訴求を統一し  
オーラルフレイル対策の情報ボード  
掲示により予防を啓発

## オーラルフレイルとは

お口の機能低下に注目した概念です。オーラルフレイルの兆候は老化の初期サインとされています。



## オーラルフレイルを予防するには

1 歯ごたえのあるものをよく噛んで食べる



噛む力を低下させないことが大切です。

2 若い頃からむし歯や歯周病のケアを怠らない



1年に2-3回は歯医者さんで定期検診を受けましょう。



## (2) 下期計画と方針

### 4. 生産性向上に向けての取り組み(進捗状況)

#### (1) 新物流センター稼働状況

- 飲料物流センター稼働(2022.11.16～)
- 栃木物流センター稼働(2023. 3.16～)

#### <目的>

- ①店舗作業の負荷軽減と作業時間の削減⇒人時数減へ
- ②無駄な在庫の削減を実施する一方、災害対策強化へ  
⇒自動発注におけるカテゴリの拡大と連動へ

#### (2) POSシステムの刷新

- ① 煩雑な操作 → 簡素化した操作 → レジ操作時間減
- ② 多様な販促施策に対応 → 機動的な販促対応へ



# ＜環境への取り組みと省エネ対策＞ 太陽光発電設備設置店舗の拡大



## ＜方針＞

環境に配慮し、持続可能な社会の実現に向けた取組を推進

- 7月に(株)CESと契約を締結
- ⇒ 現在、17箇所です太陽光発電設備を設置
- ⇒ 今後、リースにて拡大予定（今期10店舗予定）

## ＜ポイント＞

- ① 当社店舗の特長である大型店・平屋建ての構造に適している。
- ② 自社設置の場合は設備投資大もリースとなるため、投資は不要。
- ③ 自社消費以外で余剰となった電力は地域に還元  
⇒ 地域のクリーンエネルギー化に貢献

NEWS RELEASE



2023年7月3日

太陽光発電設備の設置店舗拡大に向けた契約の締結について

株式会社カワチ薬品は、温室効果ガス削減に向けた取り組みの一環として、太陽光発電設備の設置店舗拡大に向け、株式会社クリーンエナジー・ソリューションズ(以下、「CES」)と契約を締結致しました。

当社では、環境に配慮した取り組みとして、店内照明のLED化、空調設備の省エネ化、及び太陽光発電設備設置等に取り組んでおります。

このたび、「地域資源の循環を促進し、持続可能な地域発展に貢献する」というCESの経営理念は、当社の「環境に配慮し、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを推進する」という方針に合致することや、環境に配慮した太陽光発電設備の設置は、当社店舗の特長である大型店・平屋建ての構造に適していること等から、本契約の締結により、当社店舗への太陽光発電設備の設置推進を図るものであります。

カワチ薬品は今後も、地域社会に貢献し、豊かさで持続可能な社会の実現に向け、環境に配慮した取り組みを推進してまいります。

記

### 1. 契約先概要

会社名	株式会社 クリーンエナジー・ソリューションズ 【栃木銀行子会社】
所在地	栃木県宇都宮市松が峰一丁目3番20号 とちぎんビル別館
代表者	代表取締役 大塚 潤
設立日	2023年3月28日
事業概要	(1)再生可能エネルギー発電事業（オンサイトPPA事業） (2)再生エネルギーに関するコンサルティング事業 (3)環境価値に関する事業(創出、開発、販売、仲介、コンサルティング) 等

### 2. 契約店舗数

30店舗

【本契約締結により、現設置箇所17箇所(16店舗及び本社)と合わせ、計47箇所設置となる】

※その他の店舗については、今後順次検討・導入予定。

以上

＜本件に関するお問合わせ先＞  
株式会社カワチ薬品  
広報 IR グループ  
TEL : 0285-32-1131



# 業績予想①

## 【2024.3期予想】

(単位:百万円、%)

連結	2023.3期(※) (実績)			2024.3期 (期初計画)			2024.3期 (修正計画)		
		構成比	前期比		構成比	前期比		構成比	前期比
売上高	281,871	100.0	-	286,500	100.0	101.6	286,500	100.0	101.6
売上総利益	64,047	22.7	-	66,780	23.3	104.3	66,330	23.2	103.6
営業利益	6,611	2.3	-	6,000	2.1	90.8	7,000	2.4	105.9
経常利益	7,672	2.7	-	7,000	2.4	91.2	8,000	2.8	104.3
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,177	1.5	-	4,200	1.5	100.5	4,800	1.7	114.9
EPS(円)	187.1			188.1			214.9		
DPS(円)	50.0			50.0			50.0		

※「収益認識に関する会計基準」等を前連結会計年度の期首より適用しているため、増減率は記載しておりません。

## 【設備投資と減価償却】

(単位:百万円)

	2023.3期(実績)	2024.3期(計画)
設備投資に係る支出	6,009	6,500
減価償却費	4,350	4,420



## 業績予想②

### 【出店・退店計画及び店舗数】

(単位:店)

連結 出退店計画	2024.3期(計画)				
	出店(退店)			増減	店舗数 合計
	上期	下期	通期		
ドラッグストア	6(2)	9(-)	15(2)	13	377
内、調剤薬局併設	3(1)	7(1)	10(2)	8	152

### 【部門別売上高計画】

(単位:百万円、%)

連結	2023.3期(※) (実績)			2024.3期 (計画)		
		構成比	前期比		構成比	前期比
売上高合計	280,948	100.0	-	285,600	100.0	101.7
医薬品	52,780	18.8	-	52,800	18.5	100.0
化粧品	21,421	7.6	-	22,300	7.8	104.1
雑貨	77,581	27.6	-	78,500	27.5	101.2
食品	129,164	46.0	-	132,000	46.2	102.2

(注)不動産賃貸収入は含まれておりません。

※「収益認識に関する会計基準」等を前連結会計年度の期首より適用しているため、増減率は記載しておりません。

# 健康で快適な生活の実現に向けて

